

News Release

日本工営 オンデマンド交通と公共交通との統合により クアラルンプールにおける MaaS 実証事業を実施 日 ASEAN におけるアジア DX 促進事業に採択

ID&E ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：新屋浩明）傘下の日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金井晴彦、以下「日本工営」）は、グループ会社で鉄道システムのエンジニアリング・コンサルタントの ASAP MOBILITY SDN. BHD.を協働先として「日 ASEAN におけるアジア DX 促進事業 第 4 回公募における採択事業」（事務局：日本貿易振興機構）において、マレーシア国を対象に「クアラルンプールにおける端末交通と公共交通との統合による MaaS 実証事業」を提案・応募し、この度、採択されましたのでお知らせいたします。

＜本実証事業の目的＞

クアラルンプールでは自動車への依存度が高く、急速な都市化に伴って交通渋滞が深刻化し、経済成長や生活の阻害要因となり得る状況が続いています。同エリアで LRT、MRT、モノレール、バス等を運行する Prasarana Malaysia Berhad（以下「プサラナ社」）では、マルチモードルート検索や決済手段をクレジットカード等に応じるための決済基盤の導入、オンデマンド交通サービスの実証など、公共交通の利便性（UI/UX）向上と公共交通網拡充に向けた取り組みが推進されています。

本実証事業では、クアラルンプールにおいて、プサラナ社が推進する公共交通の統合による利便性向上を最終的な目標とし、オンデマンド交通の統合による効果を検証するほか、公共交通の統合に向けたデータ連携基盤（MaaS プラットフォーム）の要件を検討します。

【クアラルンプールの公共交通統合に向けた動き】



＜本実証事業の内容＞

本実証事業では、以下の 3 つに取り組みます。

- ① オンデマンド交通と既存公共交通とを統合したデジタル乗車券の発行
- ② 公共交通に加え、オンデマンド交通を追加したルート検索サービスの提供
- ③ 公共交通の利用実態等のデータを集約した運行最適化ダッシュボードの構築

日本工営では、これまでもインドネシアやシンガポールなどの地域において、MaaS 技術を取り入れた交通課題への新事業の検討・提案を行ってきました。本実証で得た知見を活用し、公共交通機関の利用者を拡大するソリューション提供を実現し、クアラルンプールにおける交通渋滞の緩和をはじめとする交通課題解決を目指します。

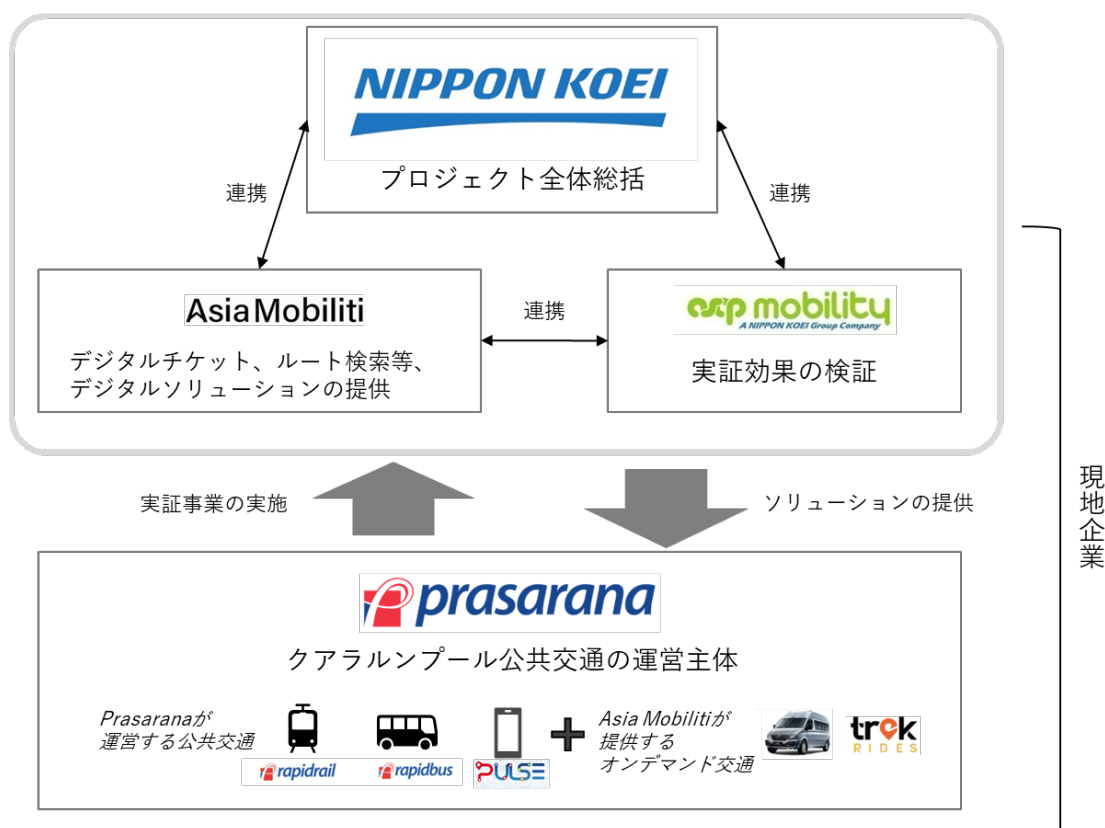
<本実証事業の概要>

名称：クアラルンプールにおける端末交通と公共交通との統合による MaaS 実証事業

事業期間：2023 年 9 月～2024 年 8 月

対象エリア：マレーシア・クアラルンプール

<本実証事業の実施体制>



—お問合せ先—

ID&E ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション室

TEL : 03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <https://www.id-and-e-hd.co.jp/>